

なごのキャンパス



外観

名古屋駅から徒歩8分。旧『那古野小学校』跡地に開設されたインキュベーション施設。廃校となった小学校の建物を活用。都市部には、珍しい大きなグラウンドも併設され、地域住民のイベント利用も可能となっている。



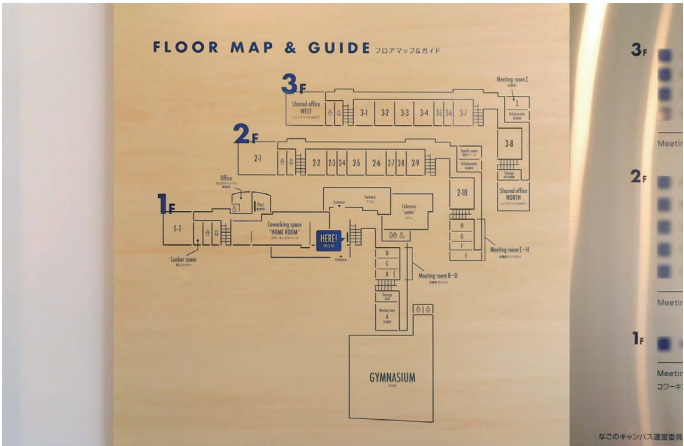
1Fコワーキングスペース

1Fのコワーキングスペースは、旧職員室と廊下をリノベーション。ワークスタイルや気分で自由に席を選べるフリーアドレスゾーンとなっており、作業、打合せ、商談などに利用される。



1Fコワーキングスペース

小学校であった雰囲気を残した改修を実施。学び舎としてのDNAを感じさせる、どこか懐かしさを覚える、温かみのある雰囲気の内観。跳び箱をイスや机として活用している。



フロアマップ

2F・3Fは、個室のオフィススペース。全18室のテナント用プライベートオフィスは、各24～117㎡までバリエーションを揃えている。



1F北側 トイレ入口

1Fに設置されたカフェテリア横に位置するトイレ。男女トイレのほか、さまざまな利用者を想定し、多機能トイレも整備している。ホワイトを基調にしたシンプルな仕上がり。



1F北側 多機能トイレ

車いすでの使用も可能なスペースをしっかりと確保した多機能トイレ。地域住民を含め、カフェテリアは外部からの利用も想定されるため、幅広い利用者に配慮している。



2F 男性トイレ 全体

窓からの外光を取り入れた、機能的で明るいトイレ空間。白と黒の対比が、シックかつスマートな空間を演出している。

2F 男性トイレ
小便器コーナー

水流を利用して発電する自己発電タイプの小便器を採用、停電時でも安心して利用ができる。小便器まわりの仕上げは、ホワイトの小便器とのコントラストが効いた黒を基調に、落ち着いた雰囲気で仕上げられている。

2F 男性トイレ
大便器コーナー

時代に即したトイレ空間を創出。小学校校舎期に和式便器だったところを、今回のリノベーションにあわせて、すべて洋式化している。

2F 女性トイレ
大便器ブース

ウォシュレットは、ボタンを押すたびに発電する自己発電タイプのエコリモコンを採用。電源工事が不要なので、改修時でも配線が露出せず、壁面まわりがすっきりとしたデザインに納まっている。

水まわりの特長

建物の特徴

『なごのキャンパス』は、「ひらく、まぜる、うまれる 次の100年を育てる学校」をコンセプトにした名古屋の新しいベンチャーの拠点であり、100年の歴史を持つ旧那古野小学校跡地事業として誕生。「広域的な交流の促進」「産業・知的資産を活かした創造」「地域力の創造と発展」の3つの柱をもとに、周辺地域を含めたエリアの価値向上を目指す。シェアオフィスや会議室、イベントスペース、カフェテリアなどを併設。コミュニティ・マネージャーという担当者を設置し、利用者間の交流を積極的に図るような仕組みを整備している。また小学校の跡地ということで体育館やグラウンドもあり、入居するスタートアップ企業や大企業だけでなく、地域住民まで利用でき、幅広い交流が生まれる施設となっている。

トイレの特長

歴史ある小学校をリノベーションした当建物にあって、水まわり空間は、時代にあった、シンプルで機能的な姿を目指して整備。ホワイトとブラックを基調とした、シックで落ち着いた雰囲気の内装に仕上げられている。大便器はすべて洋式化し、ウォシュレットを完備。小便器には、自己発電式タイプを設置。停電時でも利用が可能のように配慮されている。地域住民を含め、外部からの利用も多く想定される1Fのカフェテリア横には、多機能トイレも設置。車いすでも利用できるようしっかりとスペースを確保している。

建築概要

名称	なごのキャンパス
所在地	愛知県名古屋市西区那古野2-14-1
施主	東和不動産株式会社
設計	意匠 株式会社オープン・エー 設備 大成建設株式会社
施工	大成建設株式会社
竣工年月	(改修)2019年10月
敷地面積	6,947㎡
建築面積	2,304㎡
延床面積	4,178㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造・地上3階

おもなTOTO使用機器

パブリックコンパクト便器・タンク式:CS597BPC
ウォシュレットPS2(擬音装置「音姫」付きエコリモコン):TCF5533S
ウォシュレットPS2(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5533PR
棚付二連紙巻器:YH701／背もたれ:EWC285CS
手すり:T113BL10／手すり(はね上げタイプ): T113HK7R
自動洗浄小便器:UFS900WR／壁掛洗面器:L710C、L103A
台付自動水栓:TENA12F、TENA40A